

再々評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：沖縄総合事務局 道路建設課

担当課長名：田中 衛

事業名	主要地方道 <small>おきなわかんじょうせん</small> 沖縄環状線			事業区分	地方道	事業主体	沖縄県
起終点	自：北中城村 比嘉 至：沖縄市 比屋根			延長	2.85km		
事業概要	主要地方道沖縄環状線は、沖縄市、北中城村、うるま市を循環する延長17.9kmの道路である。市街地の慢性的な交通渋滞の緩和を図るとともに、中城湾港開発によって発生する交通を円滑に処理するものである。現在の事業区間2.85kmの完了により沖縄環状線の全区間の整備が完了する。						
H4年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)		H5年度用地着手		H6年度工事着手		
全体事業費	280億円		事業進捗率	92%		供用済延長	0km
計画交通量	38,600台/日						
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.6 (別事業費) 192.9	総費用 (別事業)/(事業全体) 6.5/352億円 事業費：4.7/350億円 維持管理費：1.9/1.9億円	総便益 (別事業)/(事業全体) 1256/1256億円 走行時間短縮便益：1148/1148億円 走行費用減少便益：69/69億円 交通事故減少便益：39/39億円	基準年	平成18年		
事業の効果等	物流効率化の支援（重要港湾へのアクセス向上が見込まれる） 都市の再生（広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する） 個性ある地域の形成（特別立法に基づく事業である）						
関係する地方公共団体等の意見	平成17年11月「沖縄県ハシゴ道路ネットワーク建設促進期成会」が設立され、当該路線は南北縦貫幹線を結ぶハシゴ道路に位置づけられ、早期整備が要望されている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成15年度に予定されていたアワセゴルフ場の返還が、平成20年度になる見込みである。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得率が99%、整備率が92%となっている。アワセゴルフ場の返還が遅れており当該区間の改良工事が未着手である。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成19年度末に比屋根交差点からアワセゴルフ場区間（約2.3km）の暫定供用を予定している。 平成20年度のアワセゴルフ場返還後に当該区間の改良工事を行い平成22年度に事業完了予定である。						
施設の構造や工法の変更等	無導坑掘削方式の採用、歩道幅員の見直しにより約3億円のコスト削減を図った。						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図							